

第 10 回
「就職したい企業・業種ランキング」
調査

2024 年5月
あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第 10 回「就職したい企業・業種ランキング」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2024 年3月 15 日(金)～2024 年3月 25 日(月)

5. 調査対象者

2025 年3月卒業予定の大学3年生男女個人

6. 調査対象企業と選定方法

各業界の大手企業・組織 200 社を抽出

7. 有効回収数

473 サンプル

8. 回答者の属性

性別・文理別

	文系	理系	合計
男性	117	117	234
女性	120	119	239
合計	237	236	473

地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	合計
21	30	181	76	90	42	33	473

※地域は、現在の所在地を集計

1. 調査結果

[1] 「就職したい企業・業種ランキング」／ランキング結果、選択理由

「就職したい企業・業種ランキング」のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 16.7%)であった。次いで「国家公務員」が2位(同 8.0%)、「ソニー」が3位(同 4.4%)となり、以下4位「アップル(Apple)」(同 3.4%)、5位「グーグル(Google)」(同 3.2%)、6位「NTTデータ」(同 3.0%)と続いた。「地方公務員」と「国家公務員」は6年連続で1位、2位をそれぞれ維持しており、公務員の安定した人気がうかがえる。

業種としては、飲食料品製造業が4社(グリコ、サントリー、味の素、日本コカ・コーラ)と最も多く、次いで、電気機器製造業(ソニー、アップル(Apple)、パナソニック)、鉄道業(東海旅客鉄道(JR東海)、西日本旅客鉄道(JR西日本)、東日本旅客鉄道(JR東日本))がそれぞれ3社となった。いずれも学生の日常生活で身近な商品・サービスを扱っている企業といえる。

順位が上昇している業種としては、「東海旅客鉄道(JR東海)」(前回 75位→今回7位)や「西日本旅客鉄道(JR西日本)」(同 94位→同7位)、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(同 75位→同10位)などの鉄道業、「グリコ」(同 75位→同10位)、「味の素」(同 23位→同16位)、「日本コカ・コーラ」(同 94位→同16位)などの飲食料品製造業が挙げられ、「講談社」(同 13位→同63位)、「集英社」(同 19位→同39位)などの出版社は、前回からのランクダウンが目立っている。(図表A)

就職したい企業の選択理由を自由回答で尋ねたところ、1位「地方公務員」、2位「国家公務員」では、「安定している」、「地元・国に貢献したい」という意見が多く、安定した働き方が人気となっている。3位以下の民間企業では、「有名だから」、「憧れがあるから」、「大企業だから」、「その企業の商品に興味がある」といった意見が目立ち、企業の知名度やイメージ、商品・サービスへの興味等から就職先を希望している学生が多いと考えられる。(図表B)

[2] 「就職したい企業・業種ランキング」／文理・男女比較

就職したい企業を文系・理系別の就職したい企業について、前回調査にて公務員によるトップ2独占が5年ぶりに崩れたものの、今回調査では、再び文理ともに「地方公務員」(回答率 文系 20.7%、理系 12.7%)、「国家公務員」(同 文系 9.3%、理系 6.8%)がトップ2に返り咲く結果となった。

文系においては、飲食料品製造業(グリコ、日本コカ・コーラ)や鉄道業(西日本旅客鉄道(JR西日本)、東海旅客鉄道(JR東海))がランクインしており、上述した2業種に人気が集まっているのに対して、理系では建設業3社(鹿島建設、清水建設、大成建設)がランクインしており、自身が大学で学んだ知識を活かせる専門性の高い業種への就職を希望する傾向がうかがえる。(図表C)

男女別では、男性において「西日本旅客鉄道(JR西日本)」、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」、「東海旅客鉄道(JR東海)」の鉄道業が上位となり、女性においては「資生堂」や「グリコ」、「サントリー」に代表される飲食料品製造業、化粧品製造業などの日常生活に身近な商品・サービスを扱っている企業に人気が集まっている。(図表D)

[3] 「就職したい企業・業種ランキング」／業種別

就職したい業種について集計したところ、1位「公的機関・その他」(回答率 26.6%)となり、2位「IT・情報通信」(同 9.1%)、3位「金融・法人向けサービス」(同 7.0%)、4位「食品・農業」(同 5.7%)と続いた。上位4業種は前回順位から変わらず、特に「公的機関・その他」は、文理・男女のすべてにおいて回答率が群を抜いており、人気の高さがうかがえる。(図表E)

就職したくない業種について集計したところ、「運輸・物流」(同 11.3%)、「小売・外食」、「自動車・重機械」(各同 9.8%)の順となった。「運輸・物流」、「小売・外食」の上位2業種は前回順位のトップ2から変化がなく、学生人気の低さがうかがえる。(図表F)

[4] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職先選定において気になる点

就職先の選定において気になる点について調査したところ、1位「給与額」(回答率 52.0%)、2位「福利厚生」(同 36.6%)、3位「雇用形態(正社員・契約社員など)」(同 26.8%)となり、以下「残業時間」(同 25.4%)、「勤務地」(同 23.9%)と続いた。上位3項目は、前回調査結果と変わらないものの、「給与額」においては、回答率が過半数まで増加していることから、学生の就職先選定における重要度が高まっているといえよう。(図表G)

[5] 「就職したい企業・業種ランキング」／最低限実現したい生涯最高年収

最低限実現したい生涯最高年収を調査したところ、「400万円以上 500万円未満」(回答率 14.6%)が最も多く、「500万円以上 600万円未満」(同 13.7%)が2位、「600万円以上 700万円未満」、「1,000万円以上 1,500万円未満」(同 11.6%)が3位となった。民間給与実態統計調査(令和4年度)によると、民間企業の平均年収は458万円となっており、学生の回答が「400万円以上 500万円未満」に集中していることから、「平均所得程度」を希望する学生が多いことがうかがえる。また、男女別では女性よりも男性、文理別では文系よりも理系において1,000万円以上の給与を求める回答が多く、高い年収を希望する層も少なからず存在していることが表れている。(図表H)

[6] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職活動状況

理想の就職活動開始時期について調査を行ったところ、「大学3年生前期」(回答率 40.4%)が最も多く、理想の内定希望時期としては、「大学4年生前期」(同 52.6%)が過半数を占めた。一方、実際に就職活動を開始した時期について調査したところ、「大学3年生前期」(同 25.4%)が最も多く、次いで「大学3年生後期」(同 20.7%)となった。

採用活動の解禁時期を定めた「就活ルール」が廃止される前の2019年調査結果と比較すると、「大学2年生までに就職活動を開始」(25.2%)は、2019年調査時(16.8%)よりも9.4ポイント増加しており、就職活動の早期化が顕著に表れている。(図表I)

また、実際の就職活動開始時期において、「大学1、2年生」から就職活動をしている学生は約4割が内々定を獲得しており、「大学3年生以降」に開始した学生の倍近い内々定獲得率であることから、早期の就職活動開始が就職活動を有利に進める要因となっている様子がうかがえる。(図表J)

2. 総評

厚生労働省発表の2023年平均の有効求人倍率は、前年比0.03ポイント増加の1.31倍となった。「売り手市場」が加速している就職活動において、学生がどのような意識で就職活動に臨んでいるのかを調査したのが、「就職したい企業・業種ランキング」である。

今回のアンケートにおいて、総合順位では6年連続で1位「地方公務員」、2位「国家公務員」となっており、学生の安定志向の高さがうかがえる。また、公務員以外の業種としては、「IT・情報通信」の人気の高い状態が続いている。

就職先選定において気になる点では、過半数の学生が「給与額」と回答しており、給与が企業選定における最重要ポイントであることが示された。しかしその一方で、最低限実現したい最高年収としては、「400万円以上～500万円未満」が最も多く、給与を重視しながらも最低限は「平均年収程度」を確保できれば良いという、やや控えめな志向もうかがえる。「人並」以上の水準を「安定的」に確保したいという意向は、まさに公務員人気の背景と合致していると考えられよう。

学生の就職活動において、最も理想的な開始時期は「大学3年生前期」であり、大学3年生から半年間～1年間程度で就職活動を終えたいという意向は、従来の調査結果から大きな変化はない。しかし、「大学1・2年生」から就職活動を開始している学生は、「大学3年生以降」に就職活動を開始した学生に比べて、内々定獲得率が倍近く高い水準となっており、早期に就職活動を開始するメリットは明らかに現れ始めている。

学生にとって、早期から就職活動を開始することは、社会人に向けての準備期間を十分に確保するという点であり、また、自身が生涯勤める可能性のある企業を入念に吟味することができるということでもあるため、決して悪いことではないといえる。

一方、企業にとって、採用活動の早期開始は、優秀な学生を他社よりも先に確保することが目的と考えられるが、それ以外にも、インターンシップなどを通じて自社での就業イメージを学生に持たせ、採用後のミスマッチやイメージギャップの発生を回避しやすくなるという点でも、メリットはあるのであろう。

とはいえ、学生の本分は学業であり、学生時代にしか学ぶことができないことや、経験できないことが多々あることも、また忘れてはいけない。企業において、自社の採用都合だけを優先するのではなく、学生が貴重な学生生活を有意義に過ごしつつも、将来の就職先や社会人としてのビジョンを思い描けるように、学生との関わり方を検討し改善していくことができれば、お互いにとって最良の就職・採用に近づいていくのではないだろうか。

図表A 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／ ランキングトップ20

(n=473／複数回答)

順位		変動	企業名	都道府県	業種	回答率
今回	前回					
1	1	→	地方公務員	-	公務	16.7%
2	2	→	国家公務員	-	公務	8.0%
3	23	↗	ソニー	東京都	電気機械器具製造業	4.4%
4	9	↗	アップル(Apple)	東京都	電気機械器具製造業	3.4%
5	13	↗	グーグル(Google)	東京都	インターネット附随サービス業	3.2%
6	6	→	NTTデータ	東京都	情報サービス業	3.0%
7	75	↗	東海旅客鉄道(JR東海)	愛知県	鉄道業	2.5%
7	94	↗	西日本旅客鉄道(JR西日本)	大阪府	鉄道業	2.5%
7	3	↘	パナソニック	大阪府	電気機械器具製造業	2.5%
10	75	↗	グリコ	大阪府	食料品製造業	2.3%
10	9	↘	サントリー	大阪府	飲料品製造業	2.3%
10	23	↗	資生堂	東京都	化学工業	2.3%
10	6	↘	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	2.3%
10	75	↗	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	2.3%
10	75	↗	三井住友銀行	東京都	銀行業	2.3%
16	23	↗	味の素	東京都	食料品製造業	2.1%
16	23	↗	NTTドコモ	東京都	通信業	2.1%
16	32	↗	ニトリ	東京都	家具小売業	2.1%
16	94	↗	日本コカ・コーラ	東京都	飲料品製造業	2.1%
16	55	↗	任天堂	京都府	玩具等製造業	2.1%
19	11	↘	三菱UFJ銀行	東京都	銀行	2.1%

図表B 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／ ランキングトップ20 選択理由

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
1	地方公務員	安定してるから	女性・文系
1	地方公務員	看護師志望だから	女性・理系
1	地方公務員	小学校の先生をめざしているから	女性・文系
1	地方公務員	教員になりたいから	女性・文系
1	地方公務員	給料が安定しているから	女性・理系
1	地方公務員	安定した収入だから	男性・理系
1	地方公務員	地元へ貢献したいから	女性・文系
1	地方公務員	教員志望だから	男性・理系
1	地方公務員	安定しているから	女性・文系
1	地方公務員	企業の待遇がよく分からないから	女性・文系
1	地方公務員	安定している	女性・文系
1	地方公務員	安定	男性・文系
1	地方公務員	夢だったから	女性・文系
1	地方公務員	両親が地方公務員だから安定した収入が得られそう	女性・理系
1	地方公務員	地元が大好きで、役に立ちたいから	女性・文系
1	地方公務員	地元で多くの人を幸せにする仕事をしたいから	男性・文系
1	地方公務員	父が地方公務員でありその姿に憧れたから	女性・文系
1	地方公務員	地元の方々に恩返しできる仕事がしたいと思った	男性・理系
1	地方公務員	安定したい	女性・理系
1	地方公務員	教員希望だから	女性・文系
2	国家公務員	職業として安定していて、給料が高いから	男性・理系
2	国家公務員	給料や雇用が安定しているから	女性・文系
2	国家公務員	安定と地位	女性・文系
2	国家公務員	安定	女性・文系
2	国家公務員	安定しているから	男性・理系
2	国家公務員	なりたい職種が国家公務員にしかないから	女性・文系
2	国家公務員	安定でプライベートの時間が確保しやすい	女性・文系
2	国家公務員	政府の中で仕事がしたいから	男性・文系
2	国家公務員	看護学部だから	女性・理系
2	国家公務員	将来の夢に一番近いから	女性・理系
2	国家公務員	国のために貢献したいから	男性・理系
2	国家公務員	安定	男性・文系
2	国家公務員	検察官になりたい	男性・文系
2	国家公務員	安定しているから	男性・理系
2	国家公務員	安泰だから	男性・文系
2	国家公務員	安定とやりがいどちらもあるから	男性・文系
3	ソニー	sonyMusicをよく使うから	女性・理系
3	ソニー	大手だから	女性・文系
3	ソニー	収入も十分であり、自分が得意なことを最も活かそう	男性・文系
3	ソニー	いろいろな分野で最先端だと思うから	男性・理系
4	アップル(Apple)	海外系の会社だから良さそうだった	女性・文系
4	アップル(Apple)	将来性	女性・理系
5	グーグル(Google)	幅広い事業、新プロダクトでもあまり失敗がないイメージ	女性・文系
5	グーグル(Google)	Googleは他の会社に比べてずば抜けてワークライフバランスが整っているから	女性・文系
5	グーグル(Google)	安定した企業で福利厚生や社内設備が充実してそう	女性・文系
5	グーグル(Google)	給料が高い	男性・理系
5	グーグル(Google)	キャリアアップに繋がるから	男性・文系
6	NTTデータ	働きやすい環境かつ、様々な事業内容に取り組まれているから	女性・理系
6	NTTデータ	安定性が高いから	男性・理系
6	NTTデータ	多くの情報システム事業に取り組んでおり、経験を積めるから	男性・理系
7	東海旅客鉄道(JR東海)	沿線の地域政策をしたいから	女性・文系
7	西日本旅客鉄道(JR西日本)	社会貢献に力を入れているから	男性・理系
7	西日本旅客鉄道(JR西日本)	鉄道に関わる仕事がしたいから	男性・文系

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
7	パナソニック	有名	男性・理系
7	パナソニック	社会的に有名で、安定しているから	男性・理系
10	サントリー	ホワイト	男性・文系
10	資生堂	幅広い商品展開が魅力的で自分も携わりたいと感じたから	女性・理系
10	資生堂	よさそう	女性・理系
10	資生堂	福利厚生や給与がいいから	女性・理系
10	資生堂	化粧品を作りたいから	女性・理系
10	トヨタ自動車	安定して良そう	男性・理系
10	トヨタ自動車	日本を代表する企業であり、安定した企業であると考えているから	男性・理系
10	トヨタ自動車	安定している	女性・文系
10	トヨタ自動車	車が好きだから	男性・理系
10	トヨタ自動車	車好き	男性・文系
10	東日本旅客鉄道(JR東日本)	首都圏の鉄道を担う大企業のため	男性・理系
10	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道会社に入るのに憧れているから	男性・文系
10	東日本旅客鉄道(JR東日本)	乗務員になりたいから	男性・文系
10	三井住友銀行	福利厚生が充実していて、将来的にも衰退の心配のない企業で路頭に迷うことがなさそう	男性・文系
10	三井住友銀行	福利厚生	男性・理系
16	味の素	いい企業だったから	女性・文系
16	味の素	大手企業でもありホワイトな会社と聞いたことがあったため	男性・理系
16	味の素	安定しているから	男性・文系
16	NTTドコモ	ワークライフバランスが充実しているから	女性・文系
16	ニトリ	家具が好きだから	男性・文系
16	ニトリ	説明会で話を聞いたところとても良いと感じたため	男性・文系
16	ニトリ	年収が良いから	男性・理系
16	日本コカ・コーラ	炭酸ジュースについて調べたいことが沢山あるため	男性・文系
16	日本コカ・コーラ	好きだから	男性・理系
16	任天堂	楽しいと思える商品をたくさん作っていて、法務部が強い	女性・文系
16	任天堂	昔からその企業の商品が好きだから	女性・理系
16	任天堂	日本の宝	男性・文系
16	任天堂	遊び心があり、楽しそうだから	男性・文系

図表C 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／文理別ランキング

(n=473／複数回答)

文系			理系		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	20.7%	1	地方公務員	12.7%
2	国家公務員	9.3%	2	国家公務員	6.8%
3	ソニー	4.2%	3	ソニー	4.7%
3	アップル(Apple)	3.8%	3	グーグル(Google)	3.8%
5	西日本旅客鉄道(JR西日本)	3.8%	5	鹿島建設	3.8%
6	グリコ	3.8%	5	NTTデータ	3.4%
6	ニトリ	3.4%	5	清水建設	3.4%
6	みずほ銀行	3.4%	5	アップル(Apple)	3.0%
9	東海旅客鉄道(JR東海)	3.0%	5	パナソニック	3.0%
9	日本コカ・コーラ	3.0%	10	資生堂	3.0%
10	パンダイナムコ	3.0%	10	トヨタ自動車	3.0%
			10	大成建設	3.0%
			10	武田薬品	3.0%

※背景色有りは、文理で共通している企業

図表D 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／男女別ランキング

(n=473／複数回答)

男性			女性		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	17.9%	1	地方公務員	15.5%
2	国家公務員	8.1%	2	国家公務員	7.9%
3	ソニー	6.0%	3	資生堂	4.6%
4	西日本旅客鉄道(JR西日本)	4.7%	4	アップル(Apple)	3.8%
4	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.7%	5	ソニー	2.9%
6	グーグル(Google)	4.3%	5	グリコ	2.9%
7	日本コカ・コーラ	3.8%	5	サントリー	2.9%
8	NTTデータ	3.4%	5	帝国ホテル	2.9%
8	清水建設	3.4%	9	NTTデータ	2.5%
8	東海旅客鉄道(JR東海)	3.4%	9	三井住友銀行	2.5%
8	トヨタ自動車	3.4%	9	サンリオ	2.5%
8	パナソニック	3.4%	9	スターバックス	2.5%

※背景色有りは、男女で共通している企業

図表E 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／就職したい業種ランキング

(n=473／単一回答)

順位	業種	全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	公的機関・その他 (公務員、JA、土業など)	26.6%	26.8%	28.7%	24.6%	30.3%	23.0%
2	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	9.1%	10.5%	8.4%	9.7%	11.5%	6.7%
3	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	7.0%	7.0%	11.0%	3.0%	6.8%	7.1%
4	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	5.7%	6.0%	4.6%	6.8%	6.4%	5.0%
5	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	5.5%	3.8%	5.1%	5.9%	3.0%	7.9%
6	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	4.9%	2.8%	1.7%	8.1%	7.3%	2.5%
7	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、パチンコ、旅行、ホテル、テーマパークなど)	3.8%	3.8%	5.9%	1.7%	3.0%	4.6%
7	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	3.8%	3.5%	4.6%	3.0%	4.3%	3.3%
9	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	3.4%	4.0%	1.7%	5.1%	5.1%	1.7%
9	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	3.4%	3.0%	1.3%	5.5%	3.4%	3.3%
11	小売・外食 (コンビニ、家電量販店、スーパー、百貨店、アパレル、外食など)	2.7%	3.0%	4.6%	0.8%	2.1%	3.3%
12	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学、繊維、紙など)	2.3%	3.3%	3.0%	1.7%	2.6%	2.1%
13	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	1.7%	2.8%	3.4%	0.0%	2.6%	0.8%
14	卸売 (総合商社、専門商社)	1.3%	1.5%	2.5%	0.0%	0.9%	1.7%

※背景色有りは、上位3項目

図表F 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／就職したくない業種ランキング

(n=473／単一回答)

順位	業種	全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	11.3%	9.8%	9.3%	14.8%	11.1%	13.0%
2	小売・外食 (コンビニ、家電量販店、スーパー、百貨店、アパレル、外食など)	9.8%	11.3%	11.4%	8.9%	9.0%	11.3%
2	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	9.8%	7.3%	11.4%	8.5%	11.1%	8.8%
4	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	7.8%	9.8%	5.9%	9.7%	10.7%	5.0%
5	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	7.3%	7.8%	7.6%	3.8%	4.7%	6.7%
6	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	4.8%	4.0%	5.1%	5.9%	6.0%	5.0%
6	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	4.8%	4.0%	3.0%	7.6%	4.7%	5.9%
8	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	4.5%	4.8%	6.3%	3.8%	7.3%	2.9%
9	公的機関・その他 (公務員、JA、土業など)	4.0%	4.8%	6.3%	3.8%	4.7%	5.4%
9	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学、繊維、紙など)	4.0%	4.5%	3.0%	3.4%	2.6%	3.8%
11	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、パチンコ、旅行、ホテル、テーマパークなど)	3.5%	1.0%	3.8%	2.5%	2.6%	3.8%
12	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	2.0%	2.0%	2.5%	3.4%	1.7%	4.2%
13	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	1.0%	3.5%	2.1%	1.7%	3.4%	0.4%
13	卸売 (総合商社、専門商社)	1.0%	1.0%	2.5%	0.8%	2.1%	1.3%

※背景色有りは、上位3項目

図表G 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／ 就職先選定において気になる点

(n=473/複数回答)

順位	気になる点	全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	給与額	52.0%	42.0%	47.7%	56.4%	52.6%	51.5%
2	福利厚生	36.6%	35.3%	37.1%	36.0%	31.6%	41.4%
3	雇用形態(正社員・契約社員など)	26.8%	25.5%	28.3%	25.4%	29.5%	24.3%
4	残業時間	25.4%	24.3%	24.9%	25.8%	26.9%	23.8%
5	勤務地	23.9%	24.5%	24.1%	23.7%	21.8%	25.9%
6	教育・研修制度	12.7%	9.3%	11.4%	14.0%	9.8%	15.5%
7	転勤や異動の頻度	8.9%	10.8%	9.3%	8.5%	8.5%	9.2%
8	職種(ホワイトカラーorブルーカラー)	8.7%	7.8%	8.0%	9.3%	11.1%	6.3%
9	離職率	8.2%	9.0%	5.9%	10.6%	10.3%	6.3%
10	労働時間の規則性	7.8%	10.0%	10.1%	5.5%	8.1%	7.5%
10	その他	7.8%	11.0%	7.6%	8.1%	7.7%	7.9%
12	サービス残業の有無	6.6%	9.8%	4.6%	8.5%	7.3%	5.9%
13	ノルマの有無・内容	5.9%	6.8%	6.8%	5.1%	6.8%	5.0%
14	テレワークの実施状況	5.7%	5.3%	7.6%	3.8%	6.8%	4.6%
15	社内イベント・飲み会の頻度	3.4%	2.5%	2.5%	4.2%	2.6%	4.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表H 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／ 最低限実現したい生涯最高年収

(n=473/単一回答)

No.	年収	全体	文系	理系	男性	女性
1	300万円未満	8.7%	8.4%	8.9%	10.7%	6.7%
2	300万円以上400万円未満	10.8%	13.1%	8.5%	6.8%	14.6%
3	400万円以上500万円未満	14.6%	14.8%	14.4%	12.4%	16.7%
4	500万円以上600万円未満	13.7%	13.9%	13.6%	13.7%	13.8%
5	600万円以上700万円未満	11.6%	11.0%	12.3%	12.0%	11.3%
6	700万円以上800万円未満	11.0%	10.5%	11.4%	7.7%	14.2%
7	800万円以上900万円未満	5.1%	4.2%	5.9%	6.0%	4.2%
8	900万円以上1,000万円未満	5.7%	5.9%	5.5%	5.1%	6.3%
9	1,000万円以上1,500万円未満	11.6%	11.8%	11.4%	17.9%	5.4%
10	1,500万円以上2,000万円未満	1.9%	0.8%	3.0%	2.6%	1.3%
11	2,000万円以上2,500万円未満	1.5%	1.3%	1.7%	0.4%	2.5%
12	2,500万円以上	3.8%	4.2%	3.4%	4.7%	2.9%

※背景色有りは、上位3項目

図表I 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／理想の就職活動開始希望時期・内定希望時期

(n=473/単一回答)

順位	学年	就職活動開始希望時期		内定希望時期		実際の就職活動開始時期	
		今回	5年前 (2019年)	今回	5年前 (2019年)	今回	5年前 (2019年)
1	大学1年生	3.2%	3.6%	0.6%	0.6%	5.3%	3.6%
2	大学2年生	16.9%	9.3%	1.7%	0.9%	19.9%	13.2%
3	大学3年生前期	40.4%	35.6%	4.4%	1.3%	25.4%	22.4%
4	大学3年生後期	27.3%	34.4%	24.1%	12.0%	20.7%	23.4%
5	大学4年生前期	8.0%	9.7%	52.6%	68.2%	19.2%	9.7%
6	大学4年生後期	3.8%	7.4%	15.9%	17.0%	9.1%	7.4%

※背景色有りは、上位2項目

図表J 第10回「就職したい企業・業種ランキング」／就職活動開始時期別 就職活動進捗状況

(n=473/単一回答)

No.	実際の就職活動開始時期	全体	5年前 (2019年)	内々定を取得している企業が1社以上ある	採用面接に進んでいる企業が1社以上ある	インターシップに参加している	企業説明会に参加している	自己分析、業界・企業研究をしている
1	大学1、2年生	5.3%	3.6%	39.3%	35.5%	31.7%	22.2%	13.3%
2	大学3年生 4月～6月	19.9%	13.2%	20.5%	22.6%	14.3%	14.8%	6.7%
3	大学3年生 7月～9月	25.4%	22.4%	21.4%	14.5%	20.6%	5.6%	0.0%
4	大学3年生 10月～12月	20.7%	23.4%	13.4%	9.7%	14.3%	18.5%	20.0%
5	大学3年生 1月～3月	19.2%	9.7%	2.7%	17.7%	9.5%	20.4%	26.7%
6	大学4年生	9.1%	7.4%	2.7%	0.0%	9.5%	18.5%	33.3%

※2024年3月時点での就職活動進捗状況

※背景色有りは、上位2項目